

高純度アルミナ企業 A E M、カナダで大規模工場稼働

2025年6月26日

豊田悦史

半導体

設備投資



アダムスプレジデント兼CEO

高純度アルミナ（H P A）の世界的リーダーを目指すカナダのアドバンスド・エナジー・ミネラルズ（A E M）は半導体を中心に先端分野の開拓を本格化する。5月にケベック州で大規模プラントの稼働を開始し、生産能力を年2000トンへと大幅に引き上げた。主力用途は半導体、合成サファイア、先端セラミックス。需要家が集まる日本を最重要市場と位置付け、3月に現地法人を設立し、顧客対応力を高めた。H P Aの需給バランスはいぜんタイトで、中国への依存度を下げたいというニーズも強い。

A E Mは2023年にカナダで大規模投資を決定。今回の2000トン体制に続き、来年下期には需要に応じて3000トンへ拡張する方針。さらに29年までに6000トン体制を構築する計画を掲げている。資金確保に向け、2～3年後の株式上場へ向けた準備を進めている。

H P A専門メーカーとして、約80品目に及ぶ製品をそろえ、カスタマイズにも対応している。こうした高付加価値のサービスを提供するには、顧客との緊密な連携が欠かせない。そのため日本法人に技術担当者を配置し、日本の顧客への支援体制を強化した。販売面では、円建ての直接取引に対応し、リードタイムの短縮へ国内在庫の整備も進める。

高純度化ニーズが年々高まっており、A E Mは4N（99・99%）や5N（99・999%）の超高純度品を提供することで競争力を強化している。とくにウランやトリウムの含有量が極めて低く、A I（人工知能）チップやパワー半導体といった放射性物質への制限が厳しい分野でも高い評価を得ている。

持続可能性の観点では、環境負荷の低減にも注力している。再生可能エネルギー由来の電力だけを用いる独自プロセスにより、スコープ1、2の二酸化炭素（C O 2）排出量をゼロに抑えている主力は水力発電で、「天然ガスを多く用いるメーカーに比べ、コストは低く安定していて、炭化水素の価格変動の影響も受けない」（ミック・アダムスプレジデント兼CEO）。多様な原料に柔軟に対応できる技術を強みに、廃アルミナなどリサイクル資源の活用にも意欲をみせている。